

新治西部地区地域福祉保健計画 意見交換会の意見をまとめてみました。 どうぞお読み下さい！



地域福祉保健計画地区別意見交換会って？

平成17年度に作成される地域福祉保健計画を「できるだけ地域の意見を吸い上げて現実的な計画にしよう」という趣旨で11地区で開催しました。

新治西部地区はいつどこで行われたの？

平成16年8月1日(日)、8月22日(日)の2回、十日市場地域ケアプラザで行いました。

だれが何人集まって話し合われたの

1回目30名 2回目19名 地域の様々な立場の方が参加しました。

どんな話し合いがすすめられたの

1回目は地域で困っている様々な問題、課題をあげてもらいました。

2回目は1回目に出てきた問題を具体的にどんなアイデアで解決できるかを話し合ってみました。

1,2回とも8人程度のグループディスカッション方法でできるだけ話しやすい雰囲気、どんな意見も尊重しようというルールで行いました。

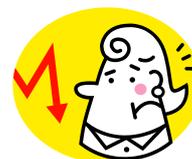
生活環境・ゴミの分別収集のアイデアが出ました

困っていること

坂道があって、外出するのが大変。ゴミの不法投棄の問題

ゴミの分別収集の取り組みをどうするか、など

こんなアイデアが出ました



- ・ 高齢者にとって買い物が不便で、近くにスーパーマーケットがあるとよい。
- ・ まちの美化・清掃活動やG30対策で、自治会の環境事業協力員を有効に活用する
- ・ G30（ゴミ排出30%減量）について、行政が誰でもわかる言葉で説明する。
- ・ G30のPR用のちらしを何度も出して分別の仕方を覚えてもらう。

地域のつながりを強くするためのアイデアが出ました

困っていること

「転居（入）者が地域の活動に協力したがない」



「地域の住民と顔を合わせる機会が少なく、関係が極端に薄い」など

こんなアイデアが出ました



- 1 自治会への加入を勧める工夫
転入届をした人に対して、区で自治会の案内やガイダンスなどを実施する。
自治会案内のパンフレットを作り配付する。
お店などに、自治会案内のパンフレットを置くなどの協力をお願いする。
- 2 住民どうして情報を伝え合う。
- 3 地域参加のしくみづくり。例えば、新治市民の森のボランティアも一つのきっかけとなる。
- 4 地域活動の中で、お父さんの活用法を考える。
- 5 定年者の地域への仲間入りを勧める。地域の世話役が仲間入りのフォローをすると助かる。
- 6 ラジオ体操の復活
- 7 社協などが中心になって異世代の出会い（交流）の場や障害者と元気な人との交流、出会い（交流）の場を作る。大きく一つでなく、少人数でも数多く。

子育て中の家庭を応援していくためのアイデアが出ました

困っていること

「乳幼児からの子育て情報がほしい。」



「乳幼児を連れて行ける場所が少ない。」など

こんなアイデアが出ました



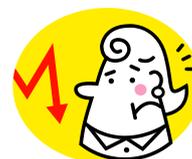
- 1 子育て中の方たちの横のつながりをつくる。
- 2 「みどり子育てネットワーク」が発足した。縦（世代）と横（関係団体）でネットワークして、地域で乳幼児からの子育てを応援していきましょう。
- 3 子育て中の父親の地域参加をすすめるしかけづくりを実施しましょう。
- 4 子育て中の母親が、社会参加しやすい地域づくりを実施しましょう。
- 5 地域ごとにサークルをつくる。お母さんが積極的にサークルに入る。

高齢者の生活を支えるアイデアが出ました

困っていること

分別してゴミを出すことが困難な人がいる。

高齢者の介護の充実、ひとり暮らし高齢者の見守りなど



こんなアイデアが出ました



- 1 高齢者のゴミ出しを支援する。
分別箱（ボックス）を作り、ゴミを出すところをわかるようにする。
ゴミ出しボランティアがいると良い。
ゴミ出し時間（8時30分）の見直しを考える。
分別について高齢者にも分かりやすい言葉で書いた案内パンフレットをつくる。
- 2 小・中学生にゴミ出しのルールを学んでもらい、高齢の方々の「おたすけ隊」になってもらう。
- 3 高齢者は役に立ちたいという気持ちが強いので、散歩のときに空き缶拾いをしたり、ちょっと若い人が手を貸し、ゴミの分別に立ち会ったりする。
- 4 独居高齢者に声かけをしていく。
- 5 転居によるひとり暮らしの高齢者に対して、自治会から地域の近所の人に連絡できると良い。
- 6 デイサービスに行くことを勧める。ヘルパーに来てもらうなど、介護サービスを知らない人もいますので、広く知らせる。
- 7 介護保険外の部分を対象とするボランティア団体やNPOの情報をケアマネージャーや在宅介護支援センターが把握し、サービスを必要とする高齢者へ伝えていく。

高齢者の活動に対してアイデアが出ました

困っていること

独居の高齢者の方が地域の活動に出たがらない。

既にある場を有効に活用することで元気老人になるには？など

こんなアイデアが出ました

- 1 高齢者福祉が過保護化している傾向があるように思える。高齢者が自らの努力で元気に生活できる意欲を持たせる支援が必要。
- 2 健康に留意することを楽しみながらできる場を提供する。
- 3 インストラクター指導の体操教室、ヨガなどを開催する。
- 4 異世代間の交流
- 5 高齢者の知恵を活用する。子どもたちへ伝えるしくみをつくる。
- 6 高齢者がボランティアで小学生に昔遊びや物づくりを教える。
- 7 年齢にとらわれず、牛乳パックなどのリサイクル材料で、趣味を取り入れて、「作品づくり」をする。老人会や地域の図書館などで、作品を利用する。
- 8 高齢者と小学生と一緒に学校で給食を食べるなど交流の場を作る。
- 9 保育園、幼稚園で交流イベントを実施する。



その他 こんなアイデアが出ました。



- ・ 障害者当事者の話やニーズをしっかりと聞くことが、サービスの充実につながる。
- ・ 世代、属性を越えて集えるコミュニティカフェ、コミュニティレストラン等があったらいいな。
- ・ 少年の場所がない。中学生の居場所づくり。
- ・ 子育て中の方は、自分の親の姿をみて、子育てをしてみる。
- ・ 青少年の教育については、“家庭”、“学校”でも取り組むべき。
- ・ 家庭のしつけの問題を考える。
- ・ マナーが悪い若い人が一部で目立ってしまう。
- ・ 空き巣の被害が多い。「まちの防犯」は、地元の住民が注意することも必要
- ・ バスが通っていないので、高齢者が外出する手段がない。小型バスがあるといい。
- ・ 十日市場駅のホーム上に、駐車スペースを建設し、小型車、大型車に区分した駐車場をつくる。
- ・ 十日市場駅にエレベーターを設置する。
- ・ 公共施設の建設時には、駐車場の設置を最優先に考える。